令和７年度「積丹町立学校における働き方改革アクション・プラン（第３期）」達成目標に対する取組実績等

	項目	指標		現状値		目標値	取組実績等		
							Ｒ６取組実績	Ｒ７取組実績	Ｒ８取組予定
目標	教育職員の「時間外在校等時間」を、１か月で 45 時間以内、１年間で 360 時間以内（１年単位の変形労働時間制を適用する場合は、それぞれ 42 時間以内、320 時間以内）			参考資料 （Ｒ３～Ｒ５積丹町立学校における教育職員の時間外在校等時間推移）		100%	別紙のとおり （HP にて公表）		時間外在校等時間を HP にて公表予定
重点的な取組	①ICT の活用による校務効率化の推進	・教員の８割以上が ICT を活用して、教材や指導案の共有を図っている学校		Ｒ５年９月　60% （道教委調査による本町の結果）		100%	Ｒ６年９月　60% （道教委調査による本町の結果）	Ｒ７年９月　50% （道教委調査による本町の結果）	道教委調査実施予定
	②保護者・地域等との連携協働	・町の HP において保護者や地域・社会に対して、働き方改革への理解や協力を求める取組を掲載し、毎年度更新する。		Ｒ５年９月　０%		100%	未実施		HP へ周知文書掲載予定
	③部活動休養日等の完全実施	①平日は少なくとも１日、土曜日及び日曜日は少なくとも１日以上の休養日 ②令和８年度から休日の部活動を地域クラブ等に移行する。		Ｒ５年　①100% ②０%		①100% ②100%	①100% ②０%	①100% ②後志管内部活動の地域展開については、広域連携協議会（北後志地区）において協議	①100% ②後志管内部活動の地域展開については、広域連携協議会（北後志地区）において協議予定
	④教頭の業務縮減	・学校への調査や行事等に関する業務について、廃止、見直し及び簡素化などの取組を毎年度行う。		Ｒ５年　０% （町教委における実施結果）		100%	・町内教頭会議において各学校取組状況を共有 ・各学校長へ教頭の業務縮減への取組実施を要請		・小・中学校教頭職の業務負担・働き方改革に関するアンケート調査を実施予定 ・引き続き各学校長へ業務縮減への取組の継続実施を要請
	⑤働き方改革の意識を高める取組の推進	・上限時間を越える職員に対して、管理職員が当該職員と面談し、業務全般の内容や優先順位等を協議しながら、適切な勤務時間となるような対策を講じている学校		Ｒ５年９月　100% （道教委調査による本町の結果）		100%	Ｒ６年９月　100% （道教委調査による本町の結果）	Ｒ７年９月　100% （道教委調査による本町の結果）	道教委調査実施予定
	⑥メンタルヘルス対策の推進等	ストレスチェック	①心理的な仕事の負担(量)	Ｒ５積丹町ストレスチェック結果	50.0	基準値（偏差値）50.0	48.6（▲1.4）	46.7（▲1.9）	教職員へのストレスチェックを継続実施予定
			②職場環境によるストレス		53.0		52.0（▲1.0）	52.0（　0.0）	
			③働きがい		55.0		57.5（　2.5）	53.8（▲3.7）	